



プレスリリース

HIVとCOVID-19：復元力の高い保健システムを学び、活用し、構築するための貴重な瞬間

都市における HIV と COVID-19 の対策に関する[バーチャル高速対応都市 \(Fast-Track Cities\) 会議 2020](#) の開幕に際し、国連合同エイズ計画 (UNAIDS) が健康上の緊急事態に対応するための新たな報告書を発表

ジュネーブ 2020 年 9 月 9 日 – UNAIDS の新たな報告書は、各国がエイズの経験と保健基盤の蓄積を COVID-19 対策に生かし、2 つのパンデミックへの対応をより強固なものにしている様子を示しています。[報告書『COVID-19 と HIV：1 つの時期、2 つの流行、3 つの機会 – すべての人の健康と権利を確保するための新しい方法を学び、活用し、構築する瞬間をどうつかむか』](#)は、いま必要とされている大きな変化に対応することにより、効果的、包括的かつ公平で資金も十分に備えたシステムの開発が可能であることを明らかにしています。

「緊急事態が及ぼす大きさから考え、世界にはいま団結と連帯が必要です」と国連のアントニオ・グテーレス事務総長は語っています。「数十年にわたる HIV との闘いは大切な教訓を得ています。その教訓を生かし、力を合わせることによって、各国の保健政策は持続可能な開発のための 2030 アジェンダを達成し、すべての人びとに健康と福祉を保証するという約束を確実に果たすことができるようになります」

報告書は 3 つの機会を強調しています。(1) HIV 対策から学んだ重要な教訓を COVID-19 対策に役立てる。(2) HIV 対策が生み出した保健基盤を COVID-19 対策に生かし、成果をさらに高める道筋を示す。(3) 人びとが利用しやすく、結果をもたらす保健システムの構築に向けて、COVID-19 と HIV 対策がこの歴史的な機会を生かす方法を示す。

「保健システムを考え直すユニークな機会です」と UNAIDS のウィニー・ビヤニマ事務局長は述べています。「健康と保健システムと医療にすべての目が向けられています。各国は COVID-19 対策だけでなく、健康的で回復力のある社会を構築したいと考えているのです。HIV と COVID-19 から学ぶことで、この機会をつかむことができます。人権を重視し、人を中心に考えた公平な保健システムの開発に向けて変革を促すことができるのです」

報告書は、HIV 対策が COVID-19 対策の迅速なスタートを助け、あわせて HIV 対策やその他の必要不可欠な保健課題を犠牲にしないようにする方法に焦点をあてています。世界はいま、COVID-19 の流行拡大を遅らせる集中的な対策を進めると同時に、HIV および他の優先的グローバルヘルス課題に必要な商品や技術の提供が滞らないようにするなど、HIV 関連サービスの中断回避に向けた努力を倍加させる必要があります。

「COVID-19 は多くのコミュニティで重大な生命の喪失を引き起こしています。とりわけ、不平等な扱いを受けている人びとを病気に対し脆弱な状態に追い込んでいる地域ではその喪失が顕著です。それでも、HIV の保健基盤と人的資源を活用することで、もっと悪化していたかもしれない事態の軽減を助けることはできました」。UNAIDS とともに[バーチャル高速対応都市（Fast-Track Cities）会議 2020](#) のイベントの共同スポンサーとなっている国際エイズケア提供者協会のホセ・M・ズニガ会長兼最高経営責任者はこう語っています。「しかし、HIV 対策費は現状でも十分ではありません。世界が HIV と COVID-19 の両方に対応していくには、早急に投資を増やす必要があります。一方の対策のためにもう一方の対策資金を吸い上げるようなことがあってはなりません」

HIV 対策を中心に構築された広範かつダイナミックで機敏な対応が可能になる保健基盤は、さまざまなかたちで COVID-19 対策の支援に活用されています。その中には、コミュニティ主導の革新的なサービス提供も含まれているのです。たとえば、米大統領エイズ救済緊急計画（PEPFAR）によって訓練を受けた 28 万人の新たな保健医療従事者が現在、低・中所得国の多くで COVID-19 への最初の対応者となり、対策を支えています。また、モロッコでは現在、17 か所の HIV 治療照会センターが COVID-19 治療サービスの最初の窓口として機能しています。ニューヨークで活動する HIV 非政府組織（NGO）ハウジングワークスは、COVID-19 の検査で陽性となったホームレスの人たちのために 2 つのシェルターを開設しました。

COVID-19 と HIV は多くの点で異なりますが、それでも重要な点でいくつか共通の特性があります。このため、HIV 対策の教訓を取り入れることで、COVID-19 対策は多くの失敗を回避できると報告書は強調しています。その大きな要素の 1 つがコミュニティの参加とリーダーシップです。コミュニティ活動は命を救うために必要な抗 HIV 薬の提供を加速し、コミュニティ調査によって医薬品の在庫切れの危険を当局に警告することもできます。また、戸別訪問によって HIV 検査および治療サービスを提供し、ゲイ男性など男性とセックスをする男性、セックスワーカー、薬物使用者といったキーポピュレーションの人たちが必要な医療サービスを利用するのを刑法が妨げないようにする活動の先頭に立つこともできます。

報告書はまた、保健対策における人権尊重の重要性、ジェンダーに関する固定化した考え方を変えることの必要性も指摘しています。その他の行動には、パンデミックについてタイムリーかつ正確なデータを提供する戦略的情報システムの強化が含まれています。こうしたシステムにより、新たなアウトブレイクの発生を把握し、世界規模の調整が可能になります。また、持続的な政治の意思、分野横断的な対応などが重要なことも強調しています。

「現在の保健システムの根本的な弱点が COVID-19 の出現で露呈しました。資金は不足しており、準備も整わず、持続可能でないことが証明されたのです」と UNAIDS のウィニー・ビヤニマ事務局長は指摘します。「保健システムが包摂的かつ公平、公正なものになるよう UNAIDS はシステムの再考を求めています」
将来の保健システムは、機敏に対応でき、結果主導で、人を中心にした包摂的なものにしなければなりません。そうすることで新たな健康危機への対応を準備しておく必要もあります。COVID-19 と HIV への対応は、保健システムを再考する機会にしなければなりません。人びとのために機能し、有効性と効率性を最大限に高め、十分な資金を確保し、健康のための不可欠なパートナーとしてコミュニティが参加できるようなシステムが求められているのです。

[バーチャル高速対応都市（Fast-Track Cities）会議 2020](#) は 9 月 9 日、10 日、世界の 300 以上の都市、自治体から約 1500 人の代表が参加し、都市における COVID-19 と HIV 対策について話し合います。米国立アレルギー感染症研究所のアソニー・ファウチ所長が基調講演を行い、UNAIDS は COVID-19 流行中の HIV サービス継続の重要性について発表します。また、HIV 対策の成果をまもるための影響緩和戦略について議論します。

Contact

UNAIDS Geneva | Sophie Barton-Knott | tel. +41 79 514 6896 | bartonknotts@unaids.org

UNAIDS Media | tel. +41 22 791 4237 | communications@unaids.org

UNAIDS

The Joint United Nations Programme on HIV/AIDS (UNAIDS) leads and inspires the world to achieve its shared vision of zero new HIV infections, zero discrimination and zero AIDS-related deaths. UNAIDS unites the efforts of 11 UN organizations—UNHCR, UNICEF, WFP, UNDP, UNFPA, UNODC, UN Women, ILO, UNESCO, WHO and the World Bank—and works closely with global and national partners towards ending the AIDS epidemic by 2030 as part of the Sustainable Development Goals. Learn more at unaids.org and connect with us on Facebook, Twitter, Instagram and YouTube.